

共生・協働の森（成木）
平成28年度 森林整備作業ボランティア活動
実施報告



実施日

平成28年 9月11日（日）

参加団体（仮名順）

恵比寿産業株式会社
東京エレクトロン株式会社
府中第八小学校S51.3卒 6年2組吉田一枝学級 一同
参加人数 合計4名



看板にて記念撮影

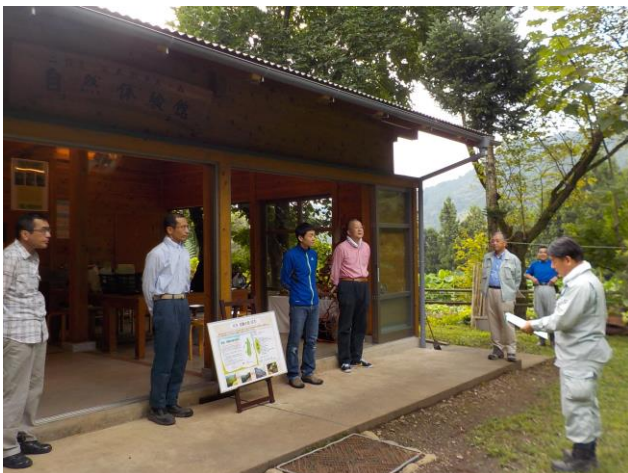
スケジュール

10:00	二俣尾・武蔵野自然体験館到着 開会式
10:20	ハイキング出発
11:30	現地到着 記念撮影 現地見学
11:50	作業開始
12:30	作業終了 昼食休憩
13:30	ハイキング出発
14:00	二俣尾・武蔵野自然体験館 (屋内プログラム・木工等)
16:00	解散

秋の始まりといってもまだまだ暑さが残る中、森林整備作業ボランティア活動を9月11日に実施いたしました。

参加者、関係者の皆様のご協力により、全行程を無事に終了することができました。今年で7年目を迎える「共生・協働の森（成木）」事業。森は今年で下刈が不用となるほどに成長しました。これもひとえに、12の企業・団体の皆様のご支援のおかげであることに感謝いたします。

当日の様子



参加者の皆さんが午前10時、JR青梅線二俣尾駅から徒歩3分の位置にある二俣尾・武蔵野市民の森自然体験館（以下、「自然体験館」）に集合しました。

開会式、準備運動を終え、ハイキングに出発しました。



約1時間のハイキングで現地へ向かいます。ハイキングといっても、林業従事者にとっては通勤です。そのようなことも考えつつ現地へ向かいます。9月とは言え、まだまだ暑い道中でした。

今年はカモシカに遭遇しました。





現地へ到着し、下刈作業を開始しました。

最後の下刈となるため、皆さん心残りの無いよう、一生懸命取り組んでいただきました。

下から見ると、スギ・ヒノキの成長がより分かったのではないのでしょうか。

作業終了。指導員の方と記念撮影。

今年は、森の下まで歩き、下から森の成長を眺めました。

下刈作業も終了し、7年生となった森の成長がより分かるようになったのでは無いのでしょうか。



昼食休憩を終え、いよいよ下山。

ハイキングと作業で汗を流した後の昼食はいつもにまして美味しかったのではないのでしょうか。

下山後、屋内プログラムと木工作業を行いました。

屋内プログラムは「森林・林業と自分たちの暮らしのつながりを実感する」というテーマで行いました。

森林所有者の福田さんから東京の森林・林業の現状についてのお話、共生・協働の森(成木)のこれまでの動画上映、杉人の連大久保様から企業・団体の皆さんに伝えたいこととお話いただきました。林業の大変さや林業という産業、森林の循環について自分たちが出来ることについてお考えいただけるきっかけになればうれしいです。木工作業では東京の木材利用を体感して頂きました。



* アンケート集計結果 *

● プログラム別の感想

① 森林作業債権

- ・年に一度の体験だが、大変良かった。
- ・二度目の活動で少し慣れた感じがある。

② 森林浴ハイキング

- ・（林業を仕事とする人の通勤ルートを体験し）大変な仕事だと思った。特に下刈は夏場の仕事だということで本当にご苦労様です。
- ・車で横付けできる現場の便の良さが重要なポイントになると思った。1時間の通勤は遠いのか普通なのか分からなかった。
- ・アスファルトのありがたさが良く分かった。
- ・自分の体力の無さを感じた。

③ 屋内プログラム

- ・（協同組合東京・杣人の連の方のお話を聞いて）皆様ポリシーがあり素晴らしい。
- ・林業の大変さが良く分かった。
- ・林業事業体で働く方の思いが聞けて良かった。
- ・「共生・協働の森のこれまで」の映像も良かった。木の成長が実感できた。
- ・（木材が）貴重な資源であることを再認識できた。今後、木材資源とどう向き合っていくべきか考えて行きたいと思う。

● その他のご感想

- ・良いイベントだと思う。
- ・また参加したい。
- ・日頃の運動不足が解消できるイベントだと思う。
- ・来年度以降も体験以外の見学、ハイキング、屋内プログラムがあっても良いと思う。

その他にもご感想いただいておりますが、ページの都合上、アンケートの一部を掲載させていただきました。

（なお、誤字・脱字はこちらで修正・加筆させていただきました。）

ご協力いただき、誠にありがとうございました。